2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(昼間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	臨床実習Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	135 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	3年次		学期及び曜時限	後期	教室名	エックス線実習室
担 当 教 員	専任教員	実務経験とその関連資格	病院実務経験5年以上、臨床実習指導教員			

《授業科目における学習内容》

放射線機器に関する業務の習得に関わる実習　3単位(135時間)

《成績評価の方法と基準》

・臨床実習確認表、出席状況並びにオスキー等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

・必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における検査の重要性を理解し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、学内実習を通じて自覚して各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨まなければならない。

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1) 社会人として、(2) 医療従事者として、(3)診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。学内実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	オリエンテーション		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	1. 実習の注意と心得 2. 事故防止について 3. 実習を行うにあたり、必要な物品および準備(服装)について 2.携帯電話の取り扱いについての諸注意		
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	オリエンテーション		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	1. 実習の注意と心得 2. 事故防止について 3. 実習を行うにあたり、必要な物品および準備(服装)について 2.携帯電話の取り扱いについての諸注意		
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	オリエンテーション		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	1. 実習の注意と心得 2. 事故防止について 3. 実習を行うにあたり、必要な物品および準備(服装)について 2.携帯電話の取り扱いについての諸注意		
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	オリエンテーション		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	1. 実習の注意と心得 2. 事故防止について 3. 実習を行うにあたり、必要な物品および準備(服装)について 2.携帯電話の取り扱いについての諸注意		
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	オリエンテーション		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	1. 実習の注意と心得 2. 事故防止について 3. 実習を行うにあたり、必要な物品および準備(服装)について 2.携帯電話の取り扱いについての諸注意		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	オリエンテーション		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	1. 実習の注意と心得 2. 事故防止について 3. 実習を行うにあたり、必要な物品および準備(服装)について 2.携帯電話の取り扱いについての諸注意		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	オリエンテーション		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	1. 実習の注意と心得 2. 事故防止について 3. 実習を行うにあたり、必要な物品および準備(服装)について 2.携帯電話の取り扱いについての諸注意		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	オリエンテーション		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	1. 実習の注意と心得 2. 事故防止について 3. 実習を行うにあたり、必要な物品および準備(服装)について 2.携帯電話の取り扱いについての諸注意		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		

2023　年度　授業計画（シラバス）

学　　科	診療放射線技師学科（昼間部）		科　目　区　分	専門分野	授業の方法	実習
科　目　名	臨床実習Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	135　(3)　時間(単位)
対 象 学 年	3年次		学期及び曜時限	後期	教室名	エックス線実習室
担 当 教 員	専任教員	実務経験とその関連資格	病院実務経験5年以上、臨床実習指導教員			

《授業科目における学習内容》

放射線機器に関する業務の習得に関わる実習　3単位（135時間）

《成績評価の方法と基準》

・臨床実習確認表、出席状況並びにオスキー等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材（教科書）及び参考図書》

・必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における検査の重要性を理解し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、学内実習を通じて自覚して各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨まなければならない。

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1)　社会人として、(2)　医療従事者として、(3)診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。学内実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第17回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　2日目		
第18回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　2日目		
第19回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　2日目		
第20回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　2日目		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　2日目		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　2日目		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　2日目		
第24回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　2日目		
第25回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線TV検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	検査の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第26回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線TV検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	検査の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第27回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線TV検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	検査の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第28回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線TV検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	検査の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第29回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線TV検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	検査の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第30回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線TV検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	検査の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(昼間部)	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	臨床実習Ⅰ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	135 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	3年次	学期及び曜時限	後期	教室名	エックス線実習室
担 当 教 員	専任教員	実務経験とその関連資格	病院実務経験5年以上、臨床実習指導教員		

《授業科目における学習内容》

放射線機器に関する業務の習得に関わる実習　3単位(135時間)

《成績評価の方法と基準》

・臨床実習確認表、出席状況並びにオスキー等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

・必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における検査の重要性を理解し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、学内実習を通じて自覚して各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨まなければならない。

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1) 社会人として、(2) 医療従事者として、(3)診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。学内実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第31回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線TV検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	検査の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第32回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線TV検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	検査の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第33回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線TV検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	検査の原理・構造・操作方法及び管理2日目		
第34回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線TV検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	検査の原理・構造・操作方法及び管理2日目		
第35回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線TV検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	検査の原理・構造・操作方法及び管理2日目		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第36回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線TV検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	検査の原理・構造・操作方法及び管理2日目		
第37回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線TV検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	検査の原理・構造・操作方法及び管理2日目		
第38回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線TV検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	検査の原理・構造・操作方法及び管理2日目		
第39回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線TV検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	検査の原理・構造・操作方法及び管理2日目		
第40回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線TV検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	検査の原理・構造・操作方法及び管理2日目		
第41回	実習形式	授業を通じての到達目標	MRI検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第42回	実習形式	授業を通じての到達目標	MRI検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第43回	実習形式	授業を通じての到達目標	MRI検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第44回	実習形式	授業を通じての到達目標	MRI検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第45回	実習形式	授業を通じての到達目標	MRI検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(昼間部)	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	臨床実習Ⅰ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	135 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	3年次	学期及び曜時限	後期	教室名	エックス線実習室
担 当 教 員	専任教員	実務経験とその関連資格	病院実務経験5年以上、臨床実習指導教員		

《授業科目における学習内容》

放射線機器に関する業務の習得に関わる実習　3単位(135時間)

《成績評価の方法と基準》

・臨床実習確認表、出席状況並びにオスキー等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

・必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における検査の重要性を理解し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、学内実習を通じて自覚して各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨まなければならない。

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1) 社会人として、(2) 医療従事者として、(3)診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。学内実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第46回	実習形式	授業を通じての到達目標	MRI検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第47回	実習形式	授業を通じての到達目標	MRI検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第48回	実習形式	授業を通じての到達目標	MRI検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第49回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線CT検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第50回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線CT検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第51回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線CT検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第52回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線CT検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第53回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線CT検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第54回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線CT検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第55回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線CT検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第56回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線CT検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第57回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線CT検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　2日目		
第58回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線CT検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　2日目		
第59回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線CT検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　2日目		
第60回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線CT検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　2日目		

2023　年度　授業計画（シラバス）

学　　科	診療放射線技師学科（昼間部）		科　目　区　分	専門分野	授業の方法	実習
科　目　名	臨床実習Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	135　(3)　時間(単位)
対 象 学 年	3年次		学期及び曜時限	後期	教室名	エックス線実習室
担 当 教 員	専任教員	実務経験とその関連資格	病院実務経験5年以上、臨床実習指導教員			

《授業科目における学習内容》

放射線機器に関する業務の習得に関わる実習　3単位（135時間）

《成績評価の方法と基準》

・臨床実習確認表、出席状況並びにオスキー等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材（教科書）及び参考図書》

・必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における検査の重要性を理解し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、学内実習を通じて自覚して各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨まなければならない。

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1)　社会人として、(2)　医療従事者として、(3)診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。学内実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第61回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線CT検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　2日目		
第62回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線CT検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　2日目		
第63回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線CT検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　2日目		
第64回	実習形式	授業を通じての到達目標	X線CT検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　2日目		
第65回	実習形式	授業を通じての到達目標	超音波検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第66回	実習形式	授業を通じての到達目標	超音波検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第67回	実習形式	授業を通じての到達目標	超音波検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第68回	実習形式	授業を通じての到達目標	超音波検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第69回	実習形式	授業を通じての到達目標	超音波検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第70回	実習形式	授業を通じての到達目標	超音波検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第71回	実習形式	授業を通じての到達目標	超音波検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第72回	実習形式	授業を通じての到達目標	超音波検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第73回	実習形式	授業を通じての到達目標	超音波検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　2日目		
第74回	実習形式	授業を通じての到達目標	超音波検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　2日目		
第75回	実習形式	授業を通じての到達目標	超音波検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　2日目		

2023　年度　授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(昼間部)		科　目　区　分	専門分野	授業の方法	実習
科　目　名	臨床実習Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	135　(3)　時間(単位)
対 象 学 年	3年次		学期及び曜時限	後期	教室名	エックス線実習室
担 当 教 員	専任教員	実務経験とその関連資格	病院実務経験5年以上、臨床実習指導教員			

《授業科目における学習内容》

放射線機器に関する業務の習得に関わる実習　3単位(135時間)

《成績評価の方法と基準》

・臨床実習確認表、出席状況並びにオスキー等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

・必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における検査の重要性を理解し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、学内実習を通じて自覚して各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨まなければならない。

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1)　社会人として、(2)　医療従事者として、(3)診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。学内実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第76回	実習形式	授業を通じての到達目標	超音波検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　2日目		
第77回	実習形式	授業を通じての到達目標	超音波検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　2日目		
第78回	実習形式	授業を通じての到達目標	超音波検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　2日目		
第79回	実習形式	授業を通じての到達目標	超音波検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　2日目		
第80回	実習形式	授業を通じての到達目標	超音波検査について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　2日目		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第81回	実習形式	授業を通じての到達目標	骨密度・眼底カメラ・乳房撮影装置について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第82回	実習形式	授業を通じての到達目標	骨密度・眼底カメラ・乳房撮影装置について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第83回	実習形式	授業を通じての到達目標	骨密度・眼底カメラ・乳房撮影装置について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第84回	実習形式	授業を通じての到達目標	骨密度・眼底カメラ・乳房撮影装置について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第85回	実習形式	授業を通じての到達目標	骨密度・眼底カメラ・乳房撮影装置について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第86回	実習形式	授業を通じての到達目標	骨密度・眼底カメラ・乳房撮影装置について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第87回	実習形式	授業を通じての到達目標	骨密度・眼底カメラ・乳房撮影装置について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第88回	実習形式	授業を通じての到達目標	骨密度・眼底カメラ・乳房撮影装置について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　1日目		
第89回	実習形式	授業を通じての到達目標	骨密度・眼底カメラ・乳房撮影装置について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　2日目		
第90回	実習形式	授業を通じての到達目標	骨密度・眼底カメラ・乳房撮影装置について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　2日目		

2023　年度　授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(昼間部)		科　目　区　分	専門分野	授業の方法	実習
科　目　名	臨床実習Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	135　(3)　時間(単位)
対 象 学 年	3年次		学期及び曜時限	後期	教室名	エックス線実習室
担 当 教 員	専任教員	実務経験とその関連資格	病院実務経験5年以上、臨床実習指導教員			

《授業科目における学習内容》

放射線機器に関する業務の習得に関わる実習　3単位(135時間)

《成績評価の方法と基準》

・臨床実習確認表、出席状況並びにオスキー等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

・必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における検査の重要性を理解し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、学内実習を通じて自覚して各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨まなければならない。

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1)　社会人として、(2)　医療従事者として、(3)診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。学内実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第91回	実習形式	授業を通じての到達目標	骨密度・眼底カメラ・乳房撮影装置について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　2日目		
第92回	実習形式	授業を通じての到達目標	骨密度・眼底カメラ・乳房撮影装置について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　2日目		
第93回	実習形式	授業を通じての到達目標	骨密度・眼底カメラ・乳房撮影装置について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　2日目		
第94回	実習形式	授業を通じての到達目標	骨密度・眼底カメラ・乳房撮影装置について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　2日目		
第95回	実習形式	授業を通じての到達目標	骨密度・眼底カメラ・乳房撮影装置について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　2日目		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第96回	実習形式	授業を通じての到達目標	骨密度・眼底カメラ・乳房撮影装置について		・その日に学んだ事を実習日誌に整理してまとめると共に疑問点があれば、教科書、参考書、ネットで調べる。
		各コマにおける授業予定	装置の原理・構造・操作方法及び管理　2日目		
第97回	実習形式	授業を通じての到達目標	OSCEについてのオリエンテーション		・OSCEに対応できるように整理してまとめると共に実践に備える準備を行う。
		各コマにおける授業予定	OSCE（オスキー、Objective Structured Clinical Examination）と、知識を問われるCBT（Computer Based Testing）についての説明		
第98回	実習形式	授業を通じての到達目標	OSCEについてのオリエンテーション		・OSCEに対応できるように整理してまとめると共に実践に備える準備を行う。
		各コマにおける授業予定	OSCE（オスキー、Objective Structured Clinical Examination）と、知識を問われるCBT（Computer Based Testing）についての説明		
第99回	実習形式	授業を通じての到達目標	OSCEについてのオリエンテーション		・OSCEに対応できるように整理してまとめると共に実践に備える準備を行う。
		各コマにおける授業予定	OSCE（オスキー、Objective Structured Clinical Examination）と、知識を問われるCBT（Computer Based Testing）についての説明		
第100回	実習形式	授業を通じての到達目標	OSCEについてのオリエンテーション		・OSCEに対応できるように整理してまとめると共に実践に備える準備を行う。
		各コマにおける授業予定	OSCE（オスキー、Objective Structured Clinical Examination）と、知識を問われるCBT（Computer Based Testing）についての説明		
第101回	実習形式	授業を通じての到達目標	OSCEについてのオリエンテーション		・OSCEに対応できるように整理してまとめると共に実践に備える準備を行う。
		各コマにおける授業予定	OSCE（オスキー、Objective Structured Clinical Examination）と、知識を問われるCBT（Computer Based Testing）についての説明		
第102回	実習形式	授業を通じての到達目標	OSCEについてのオリエンテーション		・OSCEに対応できるように整理してまとめると共に実践に備える準備を行う。
		各コマにおける授業予定	OSCE（オスキー、Objective Structured Clinical Examination）と、知識を問われるCBT（Computer Based Testing）についての説明		
第103回	実習形式	授業を通じての到達目標	OSCEについてのオリエンテーション		・OSCEに対応できるように整理してまとめると共に実践に備える準備を行う。
		各コマにおける授業予定	OSCE（オスキー、Objective Structured Clinical Examination）と、知識を問われるCBT（Computer Based Testing）についての説明		
第104回	実習形式	授業を通じての到達目標	OSCEについてのオリエンテーション		・OSCEに対応できるように整理してまとめると共に実践に備える準備を行う。
		各コマにおける授業予定	OSCE（オスキー、Objective Structured Clinical Examination）と、知識を問われるCBT（Computer Based Testing）についての説明		
第105回	実習形式	授業を通じての到達目標	OSCEについて		・OSCEに対応できるように整理してまとめると共に実践に備える準備を行う。
		各コマにおける授業予定	各人、各モダリティを選択しOSCEの準備を行う		

2023　年度　授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(昼間部)		科　目　区　分	専門分野	授業の方法	実習
科　目　名	臨床実習Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	135　(3)　時間(単位)
対 象 学 年	3年次		学期及び曜時限	後期	教室名	エックス線実習室
担 当 教 員	専任教員	実務経験とその関連資格	病院実務経験5年以上、臨床実習指導教員			

《授業科目における学習内容》

放射線機器に関する業務の習得に関わる実習　3単位(135時間)

《成績評価の方法と基準》

・臨床実習確認表、出席状況並びにオスキー等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

・必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における検査の重要性を理解し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、学内実習を通じて自覚して各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨まなければならない。

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1)　社会人として、(2)　医療従事者として、(3)診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。学内実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第106回	実習形式	授業を通じての到達目標	OSCEについて		・OSCEに対応できるように整理してまとめると共に実践に備える準備を行う。
		各コマにおける授業予定	各人、各モダリティを選択しOSCEの準備を行う		
第107回	実習形式	授業を通じての到達目標	OSCEについて		・OSCEに対応できるように整理してまとめると共に実践に備える準備を行う。
		各コマにおける授業予定	各人、各モダリティを選択しOSCEの準備を行う		
第108回	実習形式	授業を通じての到達目標	OSCEについて		・OSCEに対応できるように整理してまとめると共に実践に備える準備を行う。
		各コマにおける授業予定	各人、各モダリティを選択しOSCEの準備を行う		
第109回	実習形式	授業を通じての到達目標	OSCEについて		・OSCEに対応できるように整理してまとめると共に実践に備える準備を行う。
		各コマにおける授業予定	各人、各モダリティを選択しOSCEの準備を行う		
第110回	実習形式	授業を通じての到達目標	OSCEについて		・OSCEに対応できるように整理してまとめると共に実践に備える準備を行う。
		各コマにおける授業予定	各人、各モダリティを選択しOSCEの準備を行う		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第111回	実習形式	授業を通じての到達目標	OSCEについて		・OSCEに対応できるように整理してまとめると共に実践に備える準備を行う。
		各コマにおける授業予定	各人、各モダリティを選択しOSCEの準備を行う		
第112回	実習形式	授業を通じての到達目標	OSCEについて		・OSCEに対応できるように整理してまとめると共に実践に備える準備を行う。
		各コマにおける授業予定	各人、各モダリティを選択しOSCEの準備を行う		
第113回	実習形式	授業を通じての到達目標	OSCEについて		・OSCEに対応できるように整理してまとめると共に実践に備える準備を行う。
		各コマにおける授業予定	OSCEの実施		
第114回	実習形式	授業を通じての到達目標	OSCEについて		・OSCEに対応できるように整理してまとめると共に実践に備える準備を行う。
		各コマにおける授業予定	OSCEの実施		
第115回	実習形式	授業を通じての到達目標	OSCEについて		・OSCEに対応できるように整理してまとめると共に実践に備える準備を行う。
		各コマにおける授業予定	OSCEの実施		
第116回	実習形式	授業を通じての到達目標	OSCEについて		・OSCEに対応できるように整理してまとめると共に実践に備える準備を行う。
		各コマにおける授業予定	OSCEの実施		
第117回	実習形式	授業を通じての到達目標	OSCEについて		・OSCEに対応できるように整理してまとめると共に実践に備える準備を行う。
		各コマにおける授業予定	OSCEの実施		
第118回	実習形式	授業を通じての到達目標	OSCEについて		・OSCEに対応できるように整理してまとめると共に実践に備える準備を行う。
		各コマにおける授業予定	OSCEの実施		
第119回	実習形式	授業を通じての到達目標	OSCEについて		・OSCEに対応できるように整理してまとめると共に実践に備える準備を行う。
		各コマにおける授業予定	OSCEの実施		
第120回	実習形式	授業を通じての到達目標	OSCEについて		・OSCEに対応できるように整理してまとめると共に実践に備える準備を行う。
		各コマにおける授業予定	OSCEの実施		

2023　年度　授業計画(シラバス)

学　　科	診療放射線技師学科(昼間部)		科　目　区　分	専門分野	授業の方法	実習
科　目　名	臨床実習Ⅰ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	135　(3)　時間(単位)
対 象 学 年	3年次		学期及び曜時限	後期	教室名	エックス線実習室
担 当 教 員	専任教員	実務経験とその関連資格	病院実務経験5年以上、臨床実習指導教員			

《授業科目における学習内容》

放射線機器に関する業務の習得に関わる実習　3単位(135時間)

《成績評価の方法と基準》

・臨床実習確認表、出席状況並びにオスキー等を参考に学科として総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

・必要に応じて学内で使用しているに教科書以外の専門図書も積極的に活用すること。

《授業外における学習方法》

・臨床実習の教育目標は、“診療放射線技師として基礎的な実践能力を身につけ、医療における検査の重要性を理解し、チームの一員としての責任と役割を自覚する。”ことである。学生は、臨床実習を学生自らの問題として捉え、実習の目的・意義を考え、「何のために臨床実習に行くのか」「何を学んでこなければならないのか」について、学内実習を通じて自覚して各人が自分なりの目標を明確に設定し、積極的、意欲的に学ぶ姿勢を持った上で臨床実習に臨まなければならない。

《履修に当たっての留意点》

臨床実習における学生の立場には、近い将来の(1)　社会人として、(2)　医療従事者として、(3)診療放射線技師としての3つの局面が考えられる。学内実習の総合的な目的は、学生が臨床実習指導者の先生方からご指導を受け、以上3つの面について、それにふさわしい心構え、必要な知識・技術を学ぶと共に体験することにある。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第121回	実習形式	授業を通じての到達目標	OSCEについて		・OSCEに対応できるように整理してまとめると共に実践に備える準備を行う。
		各コマにおける授業予定	OSCEの実施		
第122回	実習形式	授業を通じての到達目標	OSCEについて		・OSCEに対応できるように整理してまとめると共に実践に備える準備を行う。
		各コマにおける授業予定	OSCEの実施		
第123回	実習形式	授業を通じての到達目標	OSCEについて		・OSCEに対応できるように整理してまとめると共に実践に備える準備を行う。
		各コマにおける授業予定	OSCEの実施		
第124回	実習形式	授業を通じての到達目標	OSCEについて		・OSCEに対応できるように整理してまとめると共に実践に備える準備を行う。
		各コマにおける授業予定	OSCEの実施		
第125回	実習形式	授業を通じての到達目標	OSCEについて		・OSCEに対応できるように整理してまとめると共に実践に備える準備を行う。
		各コマにおける授業予定	OSCEの実施		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第126回	実習形式	授業を通じての到達目標	OSCEについて		・OSCEに対応できるように整理してまとめると共に実践に備える準備を行う。
		各コマにおける授業予定	OSCEの実施		
第127回	実習形式	授業を通じての到達目標	OSCEについて		・OSCEに対応できるように整理してまとめると共に実践に備える準備を行う。
		各コマにおける授業予定	OSCEの実施		
第128回	実習形式	授業を通じての到達目標	OSCEについて		・OSCEに対応できるように整理してまとめると共に実践に備える準備を行う。
		各コマにおける授業予定	OSCEの実施		
第129回	実習形式	授業を通じての到達目標	学内実習について		・学んだ事をまとめ臨床実習に役立つように準備する。
		各コマにおける授業予定	学内実習の意義の理解と臨床実習に向けて		
第130回	実習形式	授業を通じての到達目標	学内実習について		・学んだ事をまとめ臨床実習に役立つように準備する。
		各コマにおける授業予定	学内実習の意義の理解と臨床実習に向けて		
第131回	実習形式	授業を通じての到達目標	学内実習について		・学んだ事をまとめ臨床実習に役立つように準備する。
		各コマにおける授業予定	学内実習の意義の理解と臨床実習に向けて		
第132回	実習形式	授業を通じての到達目標	学内実習について		・学んだ事をまとめ臨床実習に役立つように準備する。
		各コマにおける授業予定	学内実習の意義の理解と臨床実習に向けて		
第133回	実習形式	授業を通じての到達目標	学内実習について		・学んだ事をまとめ臨床実習に役立つように準備する。
		各コマにおける授業予定	学内実習の意義の理解と臨床実習に向けて		
第134回	実習形式	授業を通じての到達目標	学内実習について		・学んだ事をまとめ臨床実習に役立つように準備する。
		各コマにおける授業予定	学内実習の意義の理解と臨床実習に向けて		
第135回	実習形式	授業を通じての到達目標	学内実習について		・学んだ事をまとめ臨床実習に役立つように準備する。
		各コマにおける授業予定	学内実習の意義の理解と臨床実習に向けて		